



シャイン・オン!キッズ

小児がん、重い病気と闘う子どもたちと
家族の支援のために

シャイン・オン!キッズは、病院に常勤する「ファシリテイドッグ」、アメリカ発のアート介入療法「ビーズ・オブ・カレッジ」といったエビデンスに基づいた革新的な心理社会的支援プログラムを通じて、小児がんや重い病気とたたかう子どもたちとその家族をサポートしています。

小児がんや重い病気の治療を受ける子どもたちは、長期にわたる入院治療生活で不安や過剰なストレスと闘っています。日本の医療レベルは世界で最も進んだものといえますが、患者や家族のサポート面ではさらなる充実が必要です。長く辛い入院治療中でも、子どもたちが笑顔を忘れずにいられるように、独自の「心のケア」のプログラムを、全国のこども病院や小児病棟に提供しています。

シャイン・オン!キッズは、優良な活動を行っているNPO法人として東京都より認定を受けた認定特定非営利活動法人です。(初回認定 2012年12月)

シャイン・オン!キッズの活動は
寄付金で成り立っています。
皆さまからの
ご寄付をお待ちしております。

寄付はホームページ

銀行振込

or

クレジット
カード

シャイン・オン!キッズは認定NPO法人
を取得しております。認定NPO法人に
対する寄付は、個人・企業ともに寄付
が税制優遇の対象になります。



詳しくはホームページをご覧ください

認定 特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-6 7カ末ビル7F
<https://sokids.org/ja/>

ご寄付・ご支援

Thank
You!

ファシリテッドッグ・プログラム



ファシリテッドッグとは、医療施設や裁判所など、特定の施設で働く専門的なトレーニングを受けた犬のことです。同じく専門的な研修を受けたハンドラーとペアで活動します。アメリカをはじめ、世界各国で活動が行われていますが、日本では2010年、シャイン・オン!キッズと静岡県立こども病院との協働事業による導入が始まりました。

シャイン・オン!キッズのファシリテッドッグの最大の特徴は、平日5日間、常勤で活動していること。そして、医療資格を有する者が専任のハンドラーを務めること。これによって、病院内の医療チームの一員としての活動がより円滑になっています。

ときどき来て短い時間にふれ合うのではなく、同じ犬がいつもそこにいて多くの時間を繰り返し過ごせることが、入院治療している子どもたちの心の励みになります。苦い薬が飲めなくて泣いていた子が、ファシリテッドッグが横にいることでがんばって薬を飲んだ、骨髄穿刺のような辛い検査も、ファシリテッドッグが付き添うことで使う麻酔薬の量が少なく済んだ、ということも報告されています。手を動かさなかった子がファシリテッドッグにさわろうとして手を動かした、ということも起きています。子ども達にとっては「犬」ではなく、病気を一緒に闘う「しっぽの生えた仲間」なのです。

全国4カ所のこども病院で、年間のべ8000人の子どもたちをサポートしています。



ファシリテッドッグ・プログラム導入病院

- ・静岡県立こども病院 (2010年～)
- ・神奈川県立こども医療センター (2012年～)
- ・東京都立小児総合医療センター (2019年～)
- ・国立成育医療研究センター (2021年～)



ファシリテッドッグの育成

国内としては初のファシリテッドッグ専門の犬の育成事業を開始しました。補助犬育成団体の世界的な統轄組織である「Assistance Dogs International: ADI (アシスタンス・ドッグス・インターナショナル)*」の基準に沿って育成を進めるため、ADIの認定育成団体に実務経験のあるドッグトレーナー、統括マネージャーを起用しています。また、チームには医療資格を持つドッグトレーナーもあり、医療安全を担保したトレーニングをしながら、かつ入院中の子ども達の心のケアにも参加できるのが強みです。

*補助犬育成団体の世界的な統轄組織。世界30カ国にある約150の非営利の補助犬育成団体が構成される

ビーズ・オブ・カレッジ



ビーズ・オブ・カレッジ (勇気のビーズ) は、子どもたちが勇気を出してつらい治療を乗り越えていく過程を色とりどりのガラスビーズで記録していくプログラムです。例えば、採血したときは赤いビーズ、髪が抜け始めたときは顔のビーズなど、処置や治療ごとに決められたビーズを医療スタッフから説明を受けながら受け取り、子どもが自ら繫いでいきます。入院が1年に及ぶ子どもの場合には、ビーズの数がおよそ900個にまで達します。子どもたちは、自分が闘ってきた証となるビーズを誇らしげに見せてくれます。ビーズがツールとなり治療を可視化、振り返ることで本人も家族も前向きになることが出来ます。

シャイン・オン!キッズは、ビーズ・オブ・カレッジを日本で展開できる唯一の組織として認証を受けています。2024年現在、国内29ヶ所の病院や医療施設等に提供し、年間450人以上の子どもたちが参加しています。



シャイン・オン!コミュニティ



長く過酷な闘病を経験した子どもたちの「多くの人に支えられてきたからこそ、同じ経験をしている仲間を勇気づけたい!今度は自分たちが支えたい!」という想いから始動したシャイン・オン!コミュニティ。闘病中の仲間が描いた作品やオリジナルTシャツなどのチャリティ販売、国際小児がん学会等での闘病経験の発信、インターナショナルスクールの生徒との活動、イベント等での啓発活動など、子どもたちが企画、実行しシャイン・オン!キッズがサポートします。

各種イベントやチャリティ活動などに、年間150人以上が参加しています。

*キャンプカレッジ、こども企画室、シャイン・オン!フレンズを統合し、2024年よりシャイン・オン!コミュニティとして始動しました。

シャイン・オン!コネクションズ

入院生活を送る子ども達が双方向でコミュニケーションを楽しめるよう、こども病院に通信付きタブレット端末やプロジェクターなど関連機器を無償貸出し、音楽体験、英語、科学実験、体験型マジックショーなど、楽しく学べるオリジナルコンテンツをオンラインで提供。入院中の子ども達に寄り添い、勇気を与えることを目指しています。年間、のべ1500人以上の入院中の子どもたちが参加しています。